



かみのせき 議会だより

2016
4/22

No.134



四代らん蘭まつり（4月9日）

目次

当初予算 決まる

平成 28 年度一般会計・特別会計
主要事業 2～4P

平成 27 年度補正予算

条例の一部改正・制定 他 5P

質疑応答

6P

広島市と上関町との連携

中枢都市圏形成に係る連絡協約の締結 7P

町政のここが聞きたい

・一般質問

4人が町政を問う 8～11P

各委員会構成

編集後記他 12P

一般会計 32 億 6,390 万円

(前年度比 0.1% 増)

特別会計 19 億 2,657 万 7 千円

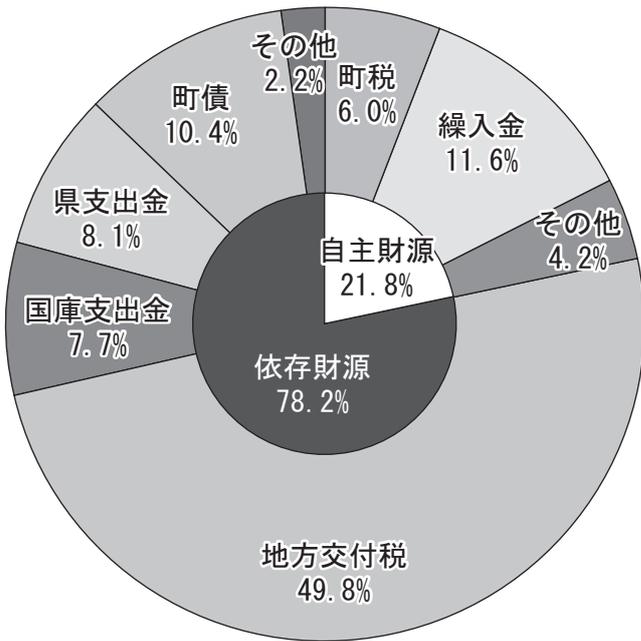
(前年度比 1.2% 増)

平成 28 年度

当初予算決まる

平成 28 年第 1 回定例会は 3 月 8 日から 17 日までの会期で開かれました。議案 32 件、報告 3 件が提案され、原案どおり可決、承認されました。

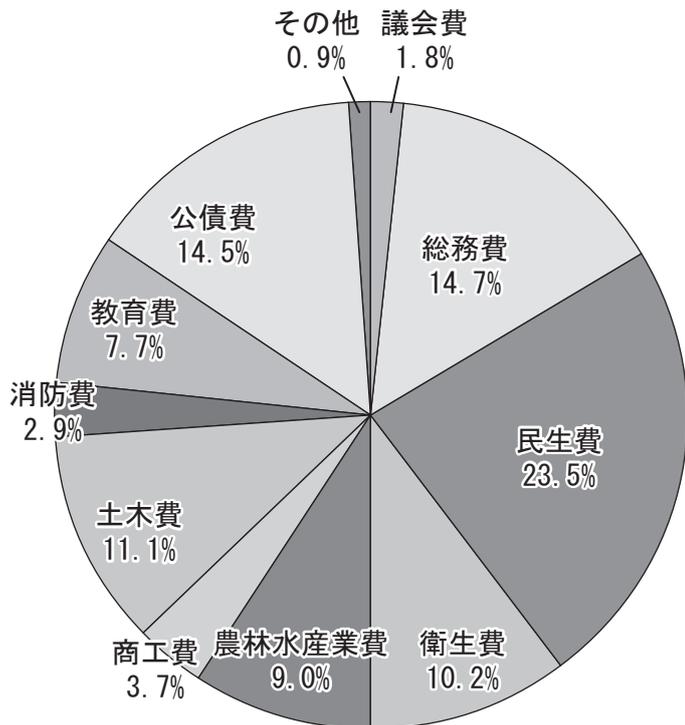
一般会計歳入状況



自主財源：町が自主的に得られる財源
依存財源：国や県の基準に基づいて交付されたり、割り当てられる財源で町単独で決められない

地方交付税について、国の平成 28 年度の予算案では、地方税の増収を見込み 0.3% の減額になっています。さらに本町は平成 27 年に実施した国勢調査で約 5000 人の人口減となり、その影響も考慮し 28 年度では、9 千万円減の 16 億 2 千 500 万円が計上されています。
町税については、納税義務者の減少や法人数の減少などにより 2.4% 減の 1 億 9 千 518 万 7 千円となっています。

一般会計歳出状況



上関町過疎地域自立促進計画

- ◆ 目的
人口減少により地域社会の活力が低下することに対し、特別措置を講ずることにより自立促進を図り、住民福祉の向上・雇用の拡大・地域格差の是正および美しく風格のある国土の形成に寄与すること。
- ◆ 期間
平成 28 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日まで
- ◆ 上関町の重点事項
 - ① 豊かな暮らしの環境整備の促進
 - ② 地域資源を活用した産業活力の向上
 - ③ 交流・連携による創発社会の形成

平成28年度主要事業

定住対策

重要施策として位置づけ28年度も引き続き、公営住宅一棟2戸、定住住宅3戸を室津新町に建設



暮らしの支援

「ささえあい基金」を活用し、28年度も継続

- 自治会組織等運営費助成 508万8千円
- 小中学生の医療費無料化 299万円
(※給付要件の所得制限を廃止)
- 福祉優待バス乗車証交付事業 1,250万円
- 通学バス定期券購入の半額助成 295万3千円
- インフルエンザ予防接種費用への助成などを実施 155万5千円



教育文化の振興

- 上関中学校旧体育館の解体工事とグラウンド整備の設計費を計上
- 英語教育の充実
学校教育では町独自に英語検定制度実施し、社会教育では、一般住民を対象とした英語教室の開催などの予算を計上



産業観光振興

室津地区の埋立地に、道の駅上関海峡や総合文化センターとリンクした駐車場や公園、船舶の係留施設など本年度から県と町において整備



風力発電（平生町）

その他の重要事業

民生・衛生

- ◆ 年金生活支援臨時福祉給付金給付事業 3千150万円
- ◆ 福祉医療費助成事業 3千158万円
- ◆ 風力発電建設事業の事前調査費 4千919万3千円

産業・土木

- ◆ 有害鳥獣対策の経費 208万2千円
- ◆ かみのせき丸のエンジンの交換 1千776万円
- ◆ 柳井地区広域消費生活センター運営費負担 20万5千円
- ◆ 観光施設整備工事 330万円
- ◆ 町道白井田蒲井線道路改良工事・町道惣津観音線道路改良工事・用地測量 9千498万5千円
- ◆ 水産物提供基盤機能保全工事・漁港補修工事他 2億150万円



かみのせき丸

総務・企画

◆倉庫解体工事、本庁舎エ
アコン更新工事、庁舎内
修繕工事他
1千62万5千円

◆地域おこし協力隊

580万4千円

※八島に地域おこし協力
員1名設置し、航路取
次所に係る支援、地域
資源の発掘、振興、観
光情報発信、農水産物
の振興に係る支援、地
域行事に係る支援、集
落維持活性化に係る支
援などを行う

◆ふるさと納税の推進

495万円



ふく刺しセット

教育

◆スクールのバス購入

(3台)

1千548万2千円

◆室津港湾公有地の駐車場

公園整備等に係る設計

日和山児童遊園遊具設置

工事、番所雑木など伐採

及び柵設置工事

513万8千円



日和山公園

特別会計 11 会計

国民健康保険事業

7億6,453万9千円 前年対比 7.9%**増**
保険給付費などの**増**

後期高齢者医療事業

7,790万7千円 前年対比 3.9%**減**
広域連合への納付金の**減**

介護保険事業

6億9,606万5千円 前年対比 4.1%**減**
介護サービス給付金などの**減**

へき地診療所事業

7,221万7千円 前年対比 18.9%**減**
祝島診療所の診療体制の変更など

へき地歯科診療所事業

3,708万2千円 前年対比 3.5%**増**
維持運営事業の**増**など

簡易水道事業

1億4,404万円 前年対比 12.3%**減**
一般会計繰入金の**減**

農業集落排水事業

1,373万3千円 前年対比 13.2%**増**
処理施設汚泥処理委託料などの**増**

漁業集落排水事業

1,599万1千円 前年対比 36.4%**減**
公債費の**減**など

航運事業

5,500万3千円 前年対比 40%**増**
かみのせき丸のエンジン交換など

風力発電事業

平成28年度は債務負担行為の設定のみ

用地取得事業

5,000万円 前年対比同額

平成27年度 補正予算

1千572万3千円を減額し、33億7千466万9千円とするものです。

歳入の主なものは、地方公共団体情報セキュリティ強化対策に係る国庫補助金の増、保育所運営費に係る国庫補助金の増、道路新設に係る社会资本整備総合交付金の減、上関中学校旧校舎解体に係る国庫補助金の減、県補助金の電源立地等推進対策交付金の減、基金からの繰入金の減などです。

歳出の主なものは、地方公共団体情報セキュリティの強化対策、国民健康保険事業特別会計への繰出金、保育所委託料などの増、住宅建設事業費、道路維持改良工事費、上関中学校旧校舎解体工事費、総合文化センター管理費の減などです。

条例の一部改正・制定

○町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定

○上関町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定

○上関町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例の制定

○上関町特別会計条例の一部を改正する条例の制定

○上関町行政手続条例の一部を改正する条例の制定

○上関町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定

○上関町墓地設置条例の一部を改正する条例の制定

○行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定

専決処分

○山口県瀬戸内海海区漁業調整委員会委員補欠選挙執行経費155万円計上

○工事請負額の変更

・平成27年度、室津地区定住促進住宅新築工事の契約金額の変更で、16万2千600円減で5千173万7千400円に変更されました。

・平成27年度祝島漁港機能保全工事の事業量の増加により契約金額を変更し、193万2千120円を追加し、6千999万9千120円に変更されました。



陳情

軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情

陳情者

軽度外傷性脳損傷仲間の会

代表 藤本久美子



室津地区定住促進住宅

質疑 応答

河村 満生議員

風力発電は1年がかりで調査するので地元説明会の状況をみてから建設の是非を判断したらどうか。

◆橋本総合企画課長

この調査は国に提出する書類に必要な添付資料の調査で風力発電の建設是非は昨年の議会で判断いただいているものと思っている。

山戸 貞夫議員

総務費の一般管理費で自治会組織等助成が減となっているが。

◆立島総務課長

実績に伴う減。住民基本台帳で予算を組んでいるがそれだけ件数が出なかった。

清水 敏保議員

有害鳥獣対策費が約2倍になっている。イノシシの対策か。

◆松村産業観光課長

現在21基の箱わなを10基増加するのとイノシシ捕獲も3月7日時点で114頭と年々増加しているのので有害獣捕獲奨励助成も増加している。



捕獲されたイノシシ

鳴尾 忠宏議員

墓地設置について、賛否の意見は耳にするが、設置の経緯は。

◆福本生活環境課長

地方集落墓地や神社、寺院の管理墓地は、空き区画がほとんどなく、上関区からの陳情、埋葬法に関する法律での違法墓地対策、公衆衛生、その他公共の福祉を十分に勘案し設置した。

鳴尾 忠宏議員

上関町営墓苑の使用料の算出方法は。

◆福本生活環境課長

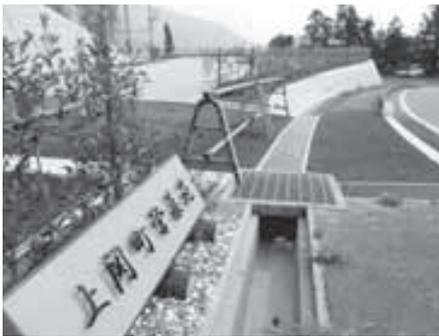
近隣の公営墓地の使用料や本年度整備した墓地の整備費用等を勘案し算出した。管理費については、永代使用料のみ。

鳴尾 忠宏議員

1区画4㎡40万円という事ですが、墓地を購入された全国平均では1・65㎡。また、夫婦墓のように一定期間だけ墓地でという方もおられると思うが。

◆柏原町長

行政運営というのは、そのときの時代と、ニーズにある程度変革しながら対応していくべきだと、私はそう思っている。



新たに設置された上関町営墓苑

海下竜一郎議員

白井田診療所の補修工事の内容をお尋ねする。

◆立島保健福祉課長

雨漏れの補修工事です。

河村 満生議員

風力発電事業特別会計予算の中で13億3000万の債務負担行為があるが、ほかの会計に財政的影響は大丈夫なのか。

◆立島総務課長

特別会計で公債費を組み合わせずから、起債を借りてその償還は、収入で補うという考え方です。

岩木 和美議員

経営自立化支援事業というのが新規事業としてあがっているが。

◆松村産業観光課長

新規就業者（漁業者）の、独立後の経営安定、地域定着に向け、県半、町半で3年間の支援金を支給。平成28年度は1名の支援を考えている。

鳴尾 忠宏議員

社会福祉会運営費補助金ですが、かなりの増額になっているが、理由は。

◆松中副町長

町の助成と上関福祉会が独自で持っている留保財源で、赤字補てんしていたが、残高が少なくなってきたため、増額の助成要望があった。



かみのせき苑

海下竜一郎議員

老人憩いの家修繕工事、上関海峡温泉修繕工事の内容を伺う。

◆立島保健福祉課長

老人憩いの家は、雨漏りの修繕です。上関海峡温泉の修繕工事は、温泉の除鉄除マンガンを、ろ過する装置の交換と、エコキュートの水漏れの修繕、休憩室の琉球畳の交換、木の風呂の研磨工事と露天風呂用の予備ポンプを計上。

広島市と上関町との連携 中枢都市圏形成に係る 連絡協約の締結

連携中枢都市圏の形成に取り組み広島広域都市圏は、東は三原エリアから西は柳井エリアまでの24市町で構成されています。

1993年より13市町により「広島広域都市圏形成懇談会」を設立以降、2012年に4町が加わり2015年7町が加わり現在に至っています。「広島広域都市圏協議会」では、圏域内のまちの活性化と産業・経済の活力増進を図ることを目的として「まち起こし協議会」を設置し、「神楽」や「食と酒」といった地域資源を積極的に活用した取組みを進めています。しかしながら、全国的に人口減少・少子高齢社会が到来する中において、ヒト・モノ・カネ・情報の循環を基調とする「ローカル経済圏」を構築する必要があります。そこで、24市町が、これまでの取組みを基礎とした「都市連盟」とも言うべき強固な信頼関係を背景に、この度国が設けた「連携中枢都市圏制度」に依拠しながら、地域の資源を圏域全体で活用する様々な施策を展開することによって、圏域経済の活性化と圏域内人口200万人超を目指す

「200万人広島都市圏構想」の実現を図ることとしました。

※「連携中枢都市圏制度」

人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するため、指定都市など一定の要件を満たす連携中枢都市が近隣市町と「連携協約」を締結すること等により圏域を形成し、

- ① 圏域全体の経済成長のけん引
 - ② 高次の都市機能の集積・強化
 - ③ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上
- を図る施策を実施する制度であり、地方交付税による財政措置が講じられるものです。

上関町が参加する連携事業名

☆「食と酒」まち起こし協議会事業
☆みなとオアシスにぎわいづくり

☆超高速ブロードバンド環境の整備に係る研究会の設置
☆広島・宮島・岩国地方観光連絡協議会事業

☆航空写真撮影事務

☆下水汚泥の共同処理の検討

(図表1-1) 広島広域都市圏



町政のここが聞きたい

一般質問

3月定例議会では4名の議員が
7件の質問をしました。

これからの町づくりに 質問が集中

一人暮らしの高齢者対策は

答 助けあい精神で町を守りたい



右田千賀子 議員

質問

我が国における独居の高齢者の割合は年々増加し上関町でも例外ではない。現在65歳以上の独居の人口は413名と聞いているが、地域や個人差はあるもののゴミ出し、買物、通院、地域行事への参加、日常生活において体力的精神的に厳しい状況にある。高齢者が安心して生活するために常日頃から住民同士の「支え合い」「見守り」「声かけ」が大切であるが町政の取り組みは。

町長答弁

平成27年7月1日現在の65歳以上のひとり暮らしの方は、413名となっている。孤独死という最悪なケースを招かないためにも、地域や協力団体と行政が連携し、より幅広い体制で高齢者の世帯を見守り活動していく必要がある。「地域見守り・支え合い活動」の協定締結を現在、協力事業者と調整中で、高齢者の方が安心して暮らせるまちづくりを実施したい。



ふれあい見守り給食サービス

朝鮮通信使の世界記憶遺産登録について



山村 泰志 議員

答 総合的に判断したい

通信使ゆかりのまち全国交流会を当町で開催予定との事、開催には事前準備や周知期間が必要。また、教育委員会の一部局では対応出来ない、町長部局も含め全町挙げての対応となる。観光協会もイベントを検討している。現状の進捗状況は、上関来航図が記憶遺産登録されれば、御茶屋の本門石段と御番所は観光スポットとなる。復元へ向けての現状の取り組み状況は。

質問

大会開催は平成30年以降となるが、引き受け表明前に諸問題の課題解決が必要。今後は受け入れ体制などの基本的計画を検討し、町長部局や観光協会など関係団体と協議し総合的に判断したい。また、本門石段復元についても、今後の歴史的な観光資源開発は町の観光部局とも相談し、現状の歴史的施設と一体的に活用出来るよう検討し、総合的に判断したい。

教育長答弁



上関来航図模型(釜山朝鮮通信使歴史館に展示)

城山歴史公園に連携した遊歩道を整備しては

答 どのように活用できるか協議してみたい

河津桜だけでは城山歴史公園は一過性の観光名所となる。関連した事業として、東山の六人塚から竈八幡宮を経由し、城山へ通ずる「健康&歴史探訪ウォーキングコース」を整備すれば、ウォーキング愛好者が森林浴や風景などの自然と歴史が感じとれる散策遊歩道が出来る。費用対効果的にも十分な観光資源となる。調査だけでも実施しては。

質問



城山歴史公園遊歩道

町長答弁

城山歴史公園は桜名所として位置付けられた。今後は四季を通じて花を楽しめるよう整備し、町内全域に観光客の流れを引き込むため、上盛山周辺等を含めた回遊型の観光ルートも考えている。指摘の古道整備は歴史的な自然を生かした散策遊歩道として、人工的な整備ではなく損傷部分や周辺の危険箇所など点検調査してどの様に活用出来るか協議してみたい。

祝島小学校の今後は

答 入学対象児童に合わせ再開校



清水 敏保 議員

質問

諸事情により28年度より、休校になるようだが、いつも学校行事等に参加・協力している島民は、残念に思っている。学校は地域や町の将来を担う人材を育む拠点として、また、地域住民との交流の場としても重要である。3年後には入学対象者がいるが、再開校するのか。耐震性のない校舎と休校の間の管理についてどうするのか問う。



祝島小学校休校式（3月23日）

学校は、地域の教育文化活動の拠点であり、特に離島地区は皆様の交流施設となるところもあるので、入学対象児童の新入学に合わせて再開校することを考えている。校舎については、補修ではなく、新しい校舎を建築していく様を考えているが、町財政状況も鑑み、協議していきたい。旧校舎の管理および利用については、祝島中学校同様、祝島自治会にお願いしたい。

教育長答弁

地域おこし協力隊に期待

答 地域資源を生かし、人を引きつける魅力を!!

質問

来年度予算に地域おこし協力隊事業が予算化されている。八島地区の高齢者の見守り、地域行事に係る支援、集落の維持活性化支援等。また、地域資源の発掘・振興、観光情報発信、農水産物の振興に係る支援等を行うと明記されている。高齢者が多く集落機能が低下している八島地区には是非とも必要であるが、経過と見通しについて問う。



八島ふれあいセンター

町長答弁

協力隊員導入には、島民の理解や協力が欠かせないことから、八島地区の皆さんと協議し、1月当初から募集しているが、本年度当初からの配置に至っていない。全国実績では、約4割の隊員が地域になじめず定住を断念する場合もあるが、都市圏の意欲ある若者が新しい目線で地域を見て、違う発想でかかわることで、刺激を与え、地域の元気につながっていくと考えている。

町内の防災対策（道路・施設）



山戸 貞夫 議員

答 町の地域防災計画で示している

当町は、半島嶼部で構成され、起伏が激しく坂道が多いうえ、津波高潮と共に大雨や地震等での道路崩壊も数多いと思えます。また長島と室津間の交通路は上関大橋一本なので災害の際は、長島各地区の住民は橋を指すと思いますが、住民避難は極めて困難です。祝島も、避難場所とされる施設は老朽化しています。新たな建設等の計画はあるのか。

質問

町長答弁

災害時に起こる事態の想定は、災害発生直後における交通混乱を最小限にとどめるよう交通規制を実施する。祝島地区の施設については、以前より公民館、歯科診療所や集会施設などを併せ持つ総合的な施設がよいと考えている。今後、財政状況を鑑みながら検討する必要がある。



老朽化した祝島老人いこいの家

町内の防災対策（弱者避難）

答 災害時要援護者台帳を作成

大規模災害時、高齢者や障がい者の避難を手伝う具体的な人的体制はどこまでできているのでしょうか。本町はある意味では比較的小規模な地区が多いため、個別対象者の把握もできやすいと思います。もともと過疎高齢化の進む地区によっては、手助けをする人自体を確保するのが困難な場面も出てくると思います。弱者避難についての当町の計画は。

質問

町長答弁

高齢者や障がい者への支援は当然で必要不可欠と考えている。重要なのは、日ごろからの地域の防災活動推進と行政との連携を図ること、強固な防災体制を築くのが大事だ。本町は比較集落の規模が小さく住居も密集しており、地域の方々の実情の把握は進んでいると思う。災害時に支援を希望する方を対象に災害時要援護者台帳を作成している。



カーをついて歩く高齢者

委員会構成が変わりました

総務文教常任委員会



岩木委員
清水副委員長
嶋尾委員
海下委員長
河村委員

産業厚生常任委員会



右田委員
山村委員長
西委員
山戸副委員長
山谷委員

議会運営委員会



山村委員
嶋尾委員長
海下委員
清水副委員長
山谷委員

議会広報広聴調査特別委員会



山村委員
岩木委員長
海下委員
嶋尾副委員長
山戸委員

一部事務組合議員

周東環境衛生組合	嶋尾忠宏	山戸貞夫
柳井地区広域消防組合	海下竜一郎	
柳井地域広域水道企業団	山村泰志	

附属機関等の委員

住宅入居者審査委員	山谷良数	山戸貞夫	
国保運営協議会委員	山谷良数	山村泰志	
簡易水道事業運営委員	右田千賀子	山戸貞夫	山村泰志

編集後記

今年も春の訪れを感じさせる三大花まつり!!(城山さくらまつり・志田菜の花まつり・四代らん蘭まつり)には多くの観光客が訪れ賑わっていました。

毎年増えてくる観光客に対して、おもてなしをしている町民も年々パワーアップしているように感じられます。

「花咲く海の町・上関」年間を通しての花のイベントができたらいと思っています。

広報委員も新メンバーとなりました。町民の皆さんに議会の出来事をよりわかりやすくお知らせするよう努力していきたいと思っています。

議会広報広聴調査特別委員会

委員長 岩木 和美
副委員長 嶋尾 忠宏
委員 海下 竜一郎
山戸 貞夫
山村 泰志